No. 217

問題形式別 ULTIMATE CHEAT SHEET

受験生がやりがちな失点パターン30

合否を分けるのは難問より「取れたはずの1問」。よくある失点を30の型で知り、自分の弱点に合う対策を習慣にする。

Web版はこちら

ここだけ3行

1. 設問の指示(正しくないもの・2つ・日本語で)に線を引く
2. s・時制・冠詞・つづりは最後に必ず指差し確認
3. 1問に固執せず、全部の大問に手をつける

◆ ① 問題文の読み違い 6

- ☐ ~~✕「正しくないもの」を選べ、で正しいものを選ぶ~~
  ○「ない」「誤り」に大きく×印を付けてから解く
  肯定・否定の取り違えは知識と無関係に失点する
- ☐ ~~✕「2つ選べ」で1つしか答えない~~
  ○ 選ぶ数を設問の横に数字で書く
  片方だけでは得点にならないことが多い
- ☐ ~~✕「日本語で答えよ」に英語で答える(逆も)~~
  ○ 答える言語に丸を付ける
  内容が正しくても指示違反になる
- ☐ ~~✕ 字数・語数の指定を無視する~~
  ○ 指定を解答欄の横にメモし、最後に数える
  大きく外れると減点・0点のおそれ
- ☐ ~~✕「本文中の語句を用いて」を無視する~~
  ○ 条件(本文の語・1語で・~を使って)に線を引く
  条件を満たさない答えは不正解
- ☐ ~~✕「記号で答えよ」に語句で答える~~
  ○ 答えの形式(記号・1語・文)を確認してから書く
  形式違いはそれだけで減点される

◆ ② ケアレスミス 8

- ☐ ~~✕ 三単現・複数の s を落とす~~
  ○ 主語と名詞の数を最後に指でたどる
  英作文・和文英訳の減点で特に多い
- ☐ ~~✕ よく使う語のつづりミス(recieve など)~~
  ○ 自分が間違えやすい語のリストを作る
  同じ語を毎回間違える人が多い
- ☐ ~~✕ 文頭の大文字・文末のピリオド忘れ~~
  ○ 書いた英文の最初と最後だけ見る確認をする
  記述では細かい減点の対象になりうる
- ☐ ~~✕ 可算名詞の単数に a / the などを付け忘れる~~
  ○ 名詞ごとに a / the / my など・複数かを確認
  日本語に冠詞がないため抜けやすい
- ☐ ~~✕ 途中で時制がずれる~~
  ○ 話の時(過去か現在か)に時制を合わせる
  過去の話が途中で現在形になりやすい
- ☐ ~~✕ 記号の書き間違い(ア/イ、a/d)~~
  ○ 記号ははっきり書き、冊子の答えと照合
  読めない字は不正解になるおそれ
- ☐ ~~✕ 解答欄を1つずらして書く~~
  ○ 問題番号と解答欄の番号を毎回確認
  ずれると連続して失点する
- ☐ ~~✕ 英作文で主語と動詞の数が合わない~~
  ○ 主語を( )で囲み、動詞と線でつなぐ
  長い主語の後で起こりやすい

◆ ③ 時間配分 6

- ☐ ~~✕ 1問に何分も固執する~~
  ○ 撤退ラインを決め、印を付けて先へ
  1問のために数問を落とすことになる
- ☐ ~~✕ 最初から順番に解いて最後の大問が白紙~~
  ○ 大問ごとに終了予定時刻を冊子に書く
  配点の高い大問が最後にあることも多い
- ☐ ~~✕ 見直しの時間がゼロ~~
  ○ 最初から見直し時間を予定に入れる
  ケアレスミスの多くは見直しで見つかる
- ☐ ~~✕ 長文を何度も読み直す~~
  ○ 段落ごとに設問を解き、読み直しを減らす
  読み直しは時間不足の大きな原因
- ☐ ~~✕ 難問を全部解こうとする~~
  ○ 解ける問題を確実に取ってから戻る
  合格に満点は要らない
- ☐ ~~✕ リスニングで前の問題を引きずる~~
  ○ 迷っても一度塗り、次の先読みへ
  次の問題まで聞き逃してしまう

◆ ④ 記述・英作文 6

- ☐ ~~✕ 説明問題の答えに「それ」「この」を残す~~
  ○ 指示語を具体的な内容に置き換える
  要素が欠けたと判断される
- ☐ ~~✕「なぜか」に「~ということ。」で答える~~
  ○「~から。」「~ため。」で終える
  設問と文末が合わないと減点されやすい
- ☐ ~~✕ 難しい表現に挑戦して文法を誤る~~
  ○ 確実に書ける英語で書く
  英作文は減点法で採点されることが多い
- ☐ ~~✕ 語数が足りない~~
  ○ 理由・具体例を1つ足す構成を用意しておく
  語数不足は大きな減点になりうる
- ☐ ~~✕ 理由や具体例がなく主張だけ~~
  ○ 主張→理由→例→まとめの型で書く
  論理の飛躍は内容点が下がる
- ☐ ~~✕ 消し跡が汚く字が読めない~~
  ○ 大きめのはっきりした字で書く
  読めない答案は採点者に伝わらない

◆ ⑤ 選択問題の判断 4

- ☐ ~~✕ 本文と同じ単語が入った選択肢に飛びつく~~
  ○ 意味が本文と同じかで判断する
  正解は言い換えになっていることが多い
- ☐ ~~✕ always / only を含む言い過ぎを選ぶ~~
  ○ 本文の程度(some / may)と比べる
  程度のすり替えは定番の誤答

☐ ✕ ~~常識や自分の意見で選ぶ~~
○ **本文に根拠があるかだけで選ぶ**
正しそうでも本文になければ誤り

☐ ✕ ~~見直しで「なんとなく」答えを変える~~
○ **根拠が見つかった時だけ変える**
根拠のない変更は得点につながらない

失点ノートの作り方
模試・過去問で失点するたびに、上の①〜⑤のどれに当たるかを分類して記録する。数回分たまると自分の「失点の型」が見えるので、本番の見直しはその型だけを重点的にチェックする。

◆ 試験直後の振り返り3ステップ 3

① **失点を全部書き出す**
答え合わせをして、間違えた問題・空欄にした問題を一覧にする。

② **原因を分類する**
知識不足か、読み違い・ケアレスミス・時間不足か。知識以外の失点の多くは手順で減らせる。

③ **次の対策を1つ決める**
「設問の否定語に×印」「大問ごとに時刻を書く」など、次回の試験で必ず実行することを1つだけ決める。

目から鱗:ミスは「注意力」より「手順」で防ぐ
「次は気をつける」だけでは同じミスが続く。設問の否定語に印を付ける、大問ごとに番号を照合する、のように、ミスが起きる場所に毎回同じ動作を入れると、注意力に頼らずに防げる。

◆ 本番の見直しチェックリスト

見る所	確認すること
設問の指示	正しくないもの／数／言語／字数・語数／形式に合っているか
解答欄	番号のずれ・空欄・二重マークがないか
英文	主語と動詞の数、s、時制、冠詞、つづり、大文字・ピリオド
記述	指示語が残っていないか、設問に合う文末か
表紙・解答用紙	受験番号・氏名・解答科目の記入とマーク

もっと無料で学ぶなら
原田英語.com
究極の英単語帳(PDF印刷)・共テ単 キョウテタン・共通テスト満点チートシート・英文法大全・英作文超絶採点くん・時事英語ナビ…
受験に役立つ無料の英語アプリと、約2,800本の記事。
原田英語.com
ほかのチートシート
(全439本・無料)